

## 会議の内容

1	会 議 名	第 1 8 回 習志野市高齢者を地域で支える検討会議
2	開 催 日 時	平成 24 年 3 月 27 日（月）午後 3 時 00 分～4 時 50 分
3	開 催 場 所	消防庁舎 4 階会議室
4	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>&lt;会議次第&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者サポートミーティング（第 17 回検討会議）を振り返って</li> <li>2 今後取り組むべきことについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）検討会議を振り返って</li> <li>（2）市への要請</li> </ol> </li> <li>3 その他</li> </ol> <p>&lt;会議概要&gt;</p> <p>数名の委員から、第 17 回検討会議「高齢者サポートミーティング」を振り返って意見・感想を伺い、続いて出席委員より「検討会議を振り返って」で全体的な意見を伺った。その後、市への要請文の内容について検討された。</p> <p><u>1 高齢者サポートミーティングを振り返って</u></p> <p>○事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 月 13 日に、市民も参加・意見交換できる拡大会議という形で 17 回検討会議を開催し、参加者数は 205 名で、うち一般参加者は 161 名であった。</li> <li>・時間が押してしまい、委員、及び一般参加者から意見を聞く時間が少なくなってしまう、計画の段階で私どもの見方が甘かったことについてお詫びを申し上げる。</li> </ul> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のことに関心がある、あるいは自分の問題として考えている方が、地域で大変多くいることを実感でき、大変良かったと思う。そういった人達を今回の報告会だけではなくて、どうやって地域の中で動いてもらえるようにするか。</li> </ul> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の方が見え、関心の高さを感じた。しかし、シンポジウムという形での討論会にしては、情報の一方通行で終わってしまったことは、反省すべき点であろう。</li> </ul> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が言えなくて残念な方もいたようなので、（こういった会議を）1 回だけじゃなくて、また何回かやっていただければと思う。</li> </ul>

## 2 今後取り組むべきことについて

### (1) 検討会議を振り返って

- 会長より、欠席委員から事前に伺っている感想を紹介。
  - ・検討会議でまとめた提言に沿った形で、行政で引き続き実施するようにお願いしたい。
  - ・この「習志野市高齢者を地域で支える検討会議」は、会議で話し合ったことが具現化するものであった。

(※以下、各委員から検討会議の全体的な感想)

- 報告書にまとめた内容を、どう具現化していくかということだと思う。私の地域では、4割近くが65歳以上の高齢者になるが、その人達の全部が全部、庇護される側ではなくて、8割方の方は自立しながら、地域のことというか、自分達と同世代を生きてきた人たちと関わり合いを持ちたいという状況になっていると思う。

地域の大きさについて、3.11の地震の時に地域で実際に動いてみて、自分の足で歩ける範囲、あるいは、自転車で動ける範囲くらいのきめ細かさを持たないと現実には動けないことが分かった。震災時だけではなく、日常的に高齢者とお互いの関わり合いを持つことについては、そういうレベルのところまで落とさないといけない。具体的には、町会や自治会、民生委員、高齢者相談員、あるいは老人クラブという人たちが、日常的にコミュニケーションがとれるような場所と機会をどこかで持ったり、行政も含めて関わり合いを持つということが必要。

- 地域性があるので、情報を共有する地域に根差した会議をやっていたら。
- サポートミーティングに参加し、今の時代、みんなから求められている大切な事項だということが分かった。最近、高齢者の介護の人が倒れて亡くなっていたり、お子さんの虐待とか、いろんな問題がある。しかし、行政のしがらみで、身近な人がおかしいと思っても、即対応できないということ、テレビの事件を見て感じた。これから先、このような会が行政と市民を迅速に結ぶパイプ役であってほしい。

青空の催しものをやって、向こう三軒両隣の輪も繋げるようになった。お茶出しをするだけで、長椅子とテーブルで、10時から始まって12時までしゃべっているなど、いかに世間話をしたいか。本当に昔の生活が、今、求められているのだと思った。

- 吹上苑町会について、リーダーになる方がきちんといて、協力的な方が集まると、地域が上手く回っているということにすごく感心した。ただ、きちんと形が決まるようなリーダーを作るのが大変なのかなとは思う。

- 私は立場的に、サービスを提供する事業所の一人として、行政と地域とのつなぎ、あるいは、地域の中で施設がどういった形で関わりを持っていったら良いのかをテーマとして思っていた。

情報弱者の方や、どうアクションして良いのか分からない方たちに少しでも多くアプローチできるような形で、サービス提供者の立場としても関わる事ができればと思っていた。

施設の食堂を一般の方に開放し、コミュニティの場所になっている。入居されているご家族の他、ベビーカーを押されたお母さん方が来られたりしている。個人的には、どんな施設なのか概要を知っていたり、また「あそこにああいうのがあるんだな」だけでも全然違うのではないかな。

○ 何のシステムであろうが、原点は近所付き合いです。近所付き合いが上手く、スムーズに行く方法はないものか。

○ 個人情報というのがすごく邪魔しているようなところがある。せめて民生委員とか、お年寄りの方と接する人たちだけにでも、どういう状態かが分かるようになっていたら、孤独死とかももう少し減ってくるのではないかなと思っている。

○ 会長

・ ゆるやかな見守りのシステムを構築したことは、検討会議の成果の一つだと思います。今後は、やりっ放しではなく後のフォローが大事だと思う。

・ この検討会議は、まっさらで何もなかったところから始まったが、実態調査を始めたことから具体的にいろんなことが見えてきて、それが大きく提言書に繋がった。皆さんにご熱心な議論をいただいた賜物だと思って感謝をしている。

・ 知識経験者として、岐阜県立看護大学の杉野先生に参加していただき、かなり負担をかけてしまったが、いろいろ提言をしていただいたことについて、大変ありがたいと思っている。

・ 皆さん方がまとめていただいた提言書をいかに具現化するのかという点が今後の課題である。とりあえず、行政がどう具体化して進んでいくのかを、今後とも皆さんと一緒に見守っていけたらと思っている。

○ 副会長

・ 当初、知らなければ始まらないというところで、最初に、伝えるということの大切さが議論にとりあげられたことについて、なるほどだなと思った。

・ 最初の頃、5つのヘルスの所長たちが、それぞれのコミュニティについてお話をされたが、これほどまで地域の実態を把握している専門職がいるということに感銘を受けた。

・ 袖ヶ浦の調査で、事務局の皆様たち自身が調査員として出向いていきたいと言われた時に、そこに関わる事務局の市の方たちの思い・熱意を感じた。

・ 習志野市が抱えていることというのは、習志野市だけではなく、同じように日本が高度経済成長していくときに作られた都市には共通のことなので、非常に普遍性があると思って関わってきた。

・ ゆるやかな見守りというところに帰着点を置くことによって、安全で安心に暮らせるような方向性にこの検討会議が行きついたということは、皆様方の3年半にわたるご努力の上に立っているということを実感することができる。

・ 行政へのお願いになるが、諸サービスの充実や、質が向上することも、所得の再分配として私たち市民にとって非常に大きな意味を持ってい

		<p>るということで、これからの施策を進めていただけたらと思っている。</p> <p style="text-align: center;"><u>(2) 市への要請</u></p> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を地域で支える施策につきまして、行政におかれましては、今後も引き続き展開していただきたい。また、当検討会議の意思をしっかりと継いでいってもらいたい。そこで、検討会議として要請書を作成し、行政にバトタッチをしたいと考えている。</li> <li>・趣旨としては、「地域における高齢者支援は、住民と行政との協働の下行われるものであり、行政は、住民が地域福祉活動を積極的、安定的に続けられるよう、その基盤を整備する必要があります。ついては、習志野市高齢者を地域で支える検討会議の提言を含め、次の事項について、行政で引き続き実施・検討することを要請」するというもの。</li> <li>・1～3番は、報告書の最終提言と同内容である。4番目に「第17回拡大会議を受けて」という項目は、今回のご議論を踏まえてまとめたものを付け加えていただければよろしい。</li> </ul> <p><u>3 その他</u></p> <p>○保健福祉部長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私どもは、行政の課題を確かに受け止めましたので、これからも、住民の方々が、地域活動を積極的に継続できるように、行政として環境を整えていく。これが私どもの役割ということで、これからも取組を続けさせていただきたい。</li> <li>・市民の皆さんや事業者の皆さんのお力を借りながら、元気な高齢者が弱った高齢者の方を支援できる、ということが必要な時代です。皆さまが結び合うことで、生きがいを持ち続けていけるような、そういう地域づくりに繋がるような環境づくりを、行政としてしっかり取り組んでいきたいと思っている。</li> </ul> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のほうには、メリハリのある施策をどんどん提案していただきたい。我々も協力するのはやぶさかではないので、開かれた市民と一緒に「高齢者を地域で支える検討会議」の成果が上がるように期待している。よろしく頑張って欲しいということをお願いをする。</li> </ul>
5	問い合わせ先	<p>所管課名：保健福祉部高齢者支援課  電話番号：047（451）1151 内線318</p>